

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|----------------------------------|---|----------|----------|---------------------|-------------------|---|---|
| 1 | 単 | 水道事業会計補助事業 【水道環境課】 | ①在宅勤務・外出自粛に伴う在宅時間の長期化による水道使用量の増加、事業所の休業等により生じる経済的負担を軽減するため ②水道事業会計に補助し、水道料金（基本料金）の免除に要する経費（水道料金の基本料金の免除に伴う減収補填）に充当 ③4,222,000円/月×5ヶ月分 4,250,000円/月×3ヶ月分 ④関ヶ原町水道事業会計 | R2.8 | R3.3 | 33,815,970 | 27,717,000 | ・水道事業会計補助金 8月分 4,217,660円 (2,938件) 9月分 4,230,750円 (2,935件) 10月分 4,214,850円 (2,933件) 11月分 4,215,730円 (2,934件) 12月分 4,217,490円 (2,935件) 1月分 4,233,390円 (2,937件) 2月分 4,241,730円 (2,942件) 3月分 4,244,370円 (2,944件) | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症による町民の経済的な影響の経済的負担の軽減につながった。 【対象者等からの評価】 ・基本料金の免除により、家計の負担軽減につながりよかった。 |
| 2 | 単 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 【地域振興課】 | ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため ②県の要請や協力依頼に応じて、施設の使用停止や営業時間の短縮に全面的に協力した事業者に対する岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の町負担分に充当 ③県試算より ④岐阜県 | R2.6 | R3.3 | 7,683,304 | 7,365,000 | ・新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金（第1弾） 45件分 7,383,304円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症拡大において県の要請により営業停止や営業時間の短縮を余儀なくされた事業者にとって事業継続の資金となり地域経済にとっても非常に有効な支援となった。 |
| 3 | 単 | 子育て世帯応援給付金給付事業 【住民課】 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため ②③18歳以下の児童がいる世帯に対し、児童1人につき2万円を給付する経費に充当 ・給付金 20,000円/人×850人 ・事務費 600,000円（郵便料、手数料等） ④18歳以下の児童がいる世帯 | R2.6 | R3.3 | 16,467,457 | 15,786,000 | ・子育て応援給付金給付金 821人 16,420,000円 ・事務費（封筒・郵便料） 47,457円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による感染予防対策として、各家庭における感染予防にかかる経済的負担を軽減することができた。 【対象者等からの評価】 ・特に申請手続きの必要がなかったの で、ありがたかった。 ・消毒液やマスクなどの購入費用にあ てることができた。 |
| 4 | 単 | 関ヶ原町プレミアム商品券発行事業 【地域振興課】 | ①落ち込んだ地域内の消費を取り戻すため町内事業所で使用できるプレミアム付き商品券を発行 ②③プレミアム商品券発行事業に要する経費に充当（補助金） ・プレミアム商品券発行事業補助金 10,000,000円 （プレミアム分換金費用、各店舗取扱手数料、商品券印刷費、チラシ印刷費等、郵送代等事務経費） ④町商工会 | R2.6 | R3.3 | 10,000,000 | 9,586,000 | ・プレミアム商品券発行事業補助金 10,000,000円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んでいた町内事業所で買い物する機会が増え、地域経済の活性化に繋がった。 【対象者等からの評価】 ・町民の関心も高く、町内で買い物する機会が増えてよかった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|--|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 5 | 単 | 新生児臨時特別給付金給付事業 【住民課】 | ①国の特別定額給付金対象世帯との均衡や子育てに係る経済負担の軽減を図るため ②③国の特別定額給付金の基準日を過ぎて生まれた子ども1人に対し、10万円を支給する経費に充当 ・支援金 100,000円×25人 ④基準日以降に出生した子どもがいる世帯 | R2.6 | R3.3 | 1,200,000 | 1,150,000 | ・新生児臨時特別給付金 12人 1,200,000円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、経済的な影響を抱える町民に対して給付された特別定額給付金の基準日以降に出生した町民にも支給し、町民の生活支援につながった。 【対象者等からの評価】 ・手続きは分かりやすくありがたかった。 ・国の給付対象ではなかったが、町から支給されてうれしかった。 |
| 6 | 単 | 新型コロナウイルス感染症感染防止対策協力金事業 【地域振興課】 | ①町内事業所の新型コロナウイルス感染症防止対策の推進及び利用者等の新型コロナウイルス感染症予防に対する意識啓発を図るため ②③感染症予防対策を実施する事業者に対する協力金に充当 ・協力金 30,000円×300事業所 ④町内事業所 | R2.6 | R3.3 | 3,480,000 | 3,336,000 | ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策協力金 116事業所 3,480,000円 | 【所管課評価】 どの業種の事業所でも早急に新型コロナウイルス感染症対策を施す必要があったことから、申請手続き等を簡素化し、多くの事業所において新型コロナウイルス感染症対策が実施された。 【対象者等からの評価】 ・手続きが簡単だったので、制度を利用しようと思えた。 ・売上が無い中で新型コロナウイルス対策にも費用がかかるので、この制度があっよかった。 |
| 7 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（備品整備事業） 【総務課】 【教育課】 | ①公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③赤外線サーモグラフィカメラの設置等の感染防止対策に要する経費に充当 ・サーモグラフィカメラ設置（7,480,000円） 1,496,000円×5基（庁舎1、ふれあいセンター（町民会館・図書館）2、診療所1、歴史民俗学習館1） ・ふれあい図書館備品（1,214,510円） 図書消毒機 770,000円×1台、スチールブックラック 71,280円×3個、ワゴン（返本用） 54,120円×3台、本の返却ポスト 35,310円、サーキュレーター 11,000円×3台 ④役場庁舎、関ヶ原診療所 他 | R2.6 | R3.3 | 5,746,812 | 5,509,000 | ・サーモグラフィカメラ設置（庁舎・ふれあいセンター・診療所・歴史民俗学習館） 5基 4,620,000円 ・ふれあい図書館備品 図書消毒機（1台） 770,000円 ブックラック（3台） 169,950円 ワゴン（3台） 126,720円 返却ポスト（1台） 27,142円 サーキュレーター（3台） 33,000円 | 【所管課評価】 各施設にサーモグラフィカメラを設置することにより、利用者の健康状態を把握し、感染防止対策を進めることができた。また、画面表示部のデジタルサイネージを利用し、新型コロナウイルス感染症防止の啓発を図ることができた。 ふれあい図書館に各種備品を導入することにより、3密の回避や除菌など利用者の安全確保を図ることができた。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|-------------------------------|--|----------|----------|---------------------|-------------------|--|---|
| 8 | 単 | 関ヶ原町小規模事業者持続化補助金事業 【地域振興課】 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、町内の事業者が商工会と一体となって事業継続等に向けて前向きに取り組む事業に要する経費を補助し、地域経済の維持と持続的発展を後押しすることを通じ、地域の活性化を図る ②③県が実施する小規模事業者持続化補助金（新型コロナウイルス感染症対策事業応援補助金）の事業者負担分を補助 ・11事業者 補助上限額750,000円 ④町内事業者 | R2.5 | R3.3 | 5,832,000 | 5,591,000 | ・小規模事業者持続化補助金 11事業者 5,832,000円 | 【所管課評価】 町内に事業所を有する小規模事業者が新型コロナウイルス感染症による経営上の困難乗り越えるために、岐阜県の応援補助金の交付を受けた者を対象に給付金の支給を行った。この支給により事業者が事業継続に向けた新たな取り組みを行うことに役立った。 【対象者等からの評価】 ・取り組んだ事業がほぼ補助金で補え、自己資金を使用しなくて済んだ。 |
| 9 | 単 | 関ヶ原deごはんプロジェクト推進事業 【地域振興課】 | ①外出自粛等に対応するための取組を支援したい ②③ イ 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている飲食店に対し、今後も継続して経営するための応援金を交付、テイクアウトやデリバリーを導入する飲食店には上乘せして応援金を給付する。 ・持続継続応援金 100,000円×14店舗 ・テイクアウトを導入する飲食店 120,000円×10店舗 ・デリバリーを導入する飲食店 150,000円×5店舗 ロ 住民へ配布するリーフレットの作成費用等 ・クーポン券付リーフレット（300円×3,000部） ・クーポン利用店舗換金分（500円分×3,000部） ・事務経費 100,000円 ④町内事業者 | R2.6 | R3.3 | 4,112,286 | 3,942,000 | ・飲食店事業継続応援金 29事業所 3,350,000円 ・クーポン券分 905枚分 452,500円 ・事務費（リーフレット印刷代等） 309,786円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた業界に対し、適切な支援を実施することができ、ほとんどの飲食店がコロナ禍でも事業を継続して運営できている。 【対象者等からの評価】 ・まだ行っていたことがなかった飲食店を利用するいいきっかけになった。 ・新型コロナウイルス対策を実施するための資金に使い、テイクアウト事業を始めるなど、前向きに取り組めた。 |
| 10 | 単 | 雇用調整助成金申請手続支援事業 【地域振興課】 | ①町内事業者の雇用調整助成金申請手続を支援するため ②③雇用調整助成金に関する申請手続を専門家（社会保険労務士、税理士等）に依頼する経費について補助 ・70,000円×5事業所 ・事業所配布用チラシ作成等 50,000円 ④町内事業者 | R2.5 | R3.3 | 155,000 | 149,000 | ・雇用調整助成金申請手続支援事業補助金 3事業所 155,000円 | 【所管課評価】 各申請の手続を自社でスムーズにできない事業者にとってこの支援事業は非常に有効であった。 【対象者等からの評価】 ・こうした部分まで支援していただけてありがたかった。今後の勉強にもなった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|--------------------------------------|---|----------|----------|---------------------|-------------------|---|---|
| 11 | 単 | 地域産品等販売用ネットショップ開設事業 【地域振興課】 | ①外出自粛時における地域産品等の販路拡大のため ②③外出自粛時等においても、地域産品等をオンライン上で販売できるネットショップを開設する経費（駅前観光交流館をオンライン上で開設）に充当 ・地域産品等販売用ネットショップ開設事業委託料 1,000,000円 企画・調整費、ホームページ改修、広告料、チラシ・ポスター制作、ノベルティ制作、撮影費、備品購入、消耗品、管理費他 ④関ヶ原観光協会（事業委託） | R2.8 | R3.3 | 998,250 | 957,000 | ・地域産品等販売用ネットショップ開設事業委託料（観光協会） 998,250円 | 【所管課評価】 これまでは現地に来てモノを買っていただくことに重点を置いていたが、コロナをきっかけに、ネットショップを開設したことで、普段来られない遠方のお客様に喜んでいただき、オンラインショップのメリットが実感できた。 |
| 12 | 単 | 避難所生活環境確保事業 【総務課】 | ①避難所における新型コロナウイルス感染症対策を強化するため ②避難所に配備する資機材の購入に要する経費に充当 ③手指消毒剤の購入（1,375円×500本） 体温計の購入（3,850円×70本） ウェットティッシュ（198円×150袋） 使い捨て手袋（1,430円×30箱） トイレ用テント（24,200円×26個） 非常用排便収納袋（25,080円×26セット） 非常用便座（4,950円×26台） 間仕切りテント（17,050円×45個） ワンタッチイベントテント（176,000円×13個） アルミハイスタンド扇風機（8,030円×16台） フェイスシールド（330円×500枚） ポリエチレン製ガウン（220円×500枚） 段ボールベッド（10,450円×50台） ビニールシート（18,150円×5ロール） ④町指定避難所 | R2.6 | R3.3 | 5,597,680 | 2,684,000 | ・避難所資機材購入 手指消毒剤（500本） 632,500円 体温計（26本） 214,500円 ウェットティッシュ 29,700円 使い捨て手袋 42,900円 トイレ用テント（26個） 629,200円 非常用排便収納袋（26セット） 652,080円 非常用便座（26台） 128,700円 間仕切りテント（45個） 767,250円 ワンタッチイベントテント（13個） 1,485,000円 アルミハイスタンド扇風機（16台） 127,600円 フェイスシールド（500枚） 165,000円 ポリエチレン製ガウン（500枚） 110,000円 段ボールベッド（50台） 522,500円 ビニールシート 90,750円 | 【所管課評価】 避難所において使用する手指消毒剤等や、避難者間の距離確保を目的とした資機材を導入したことによって災害発生時における避難所内での新型コロナウイルス感染症拡大防止のための準備が整った。 |
| 13 | 単 | （コンビニ収納サービス及び）キャッシュレス決済導入事業 【総務課】 | ①公共料金の窓口納付等の接触機会の軽減を図るため ②③公共料金のキャッシュレス決済の導入に要する経費に充当 ・システム改修等委託料 5,000,000円 ・専用プリンター 77,000円×2台 ④役場庁舎 | R2.9 | R3.3 | 4,702,128 | 4,508,000 | ・総合行政情報システム改修委託料 4,493,128円 ・回線開通業務委託料 55,000円 ・専用プリンター 154,000円 | 【所管課評価】 24時間いつでもどこからでも納付することができるキャッシュレス決済導入後、利用者も増加しており窓口納付による接触機会の軽減に役立っている。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|------------------------|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 14 | 単 | 除雪車両固定費支援事業 【産業建設課】 | ①新型コロナウイルス感染症の影響を受け事業収入が減少した町内の建設事業者が、町道除雪を目的として所有する除雪車両の固定費の一部を支援し、当該車両の所有を継続させ、冬期の除雪体制を維持することにより降雪時の生活道路の確保を図る ②③除雪車両の維持に係る固定費（自主点検及び車検に要する法定点検費用）を補助 ・自主点検費用(30,000円×2台)、(35,000円×7台)、(45,000円×5台) ・車検費用(57,250円×7台) ④町道除雪作業受託建設事業者 | R2.11 | R3.3 | 930,750 | 892,000 | ・除雪車固定費支援事業費補助金 7事業者 930,750円 | 【所管課評価】 町道除排雪業務において、町内の除雪事業者に対して除雪車両の経費を補助することにより、各業者が通常負担する除雪費用を軽減することができた。 【対象者等からの評価】 ・除雪車の維持管理費が軽減されて助かった。 |
| 15 | 単 | 避難所生活環境整備事業 【総務課】 | ①避難所における3密回避等の感染症対策や避難所における生活環境の整備を図るため ②③避難所における生活環境を確保するために必要な環境整備や資機材、その資機材等を収納するための倉庫の整備に要する経費に充当 ・防災備蓄倉庫設置工事（2箇所） 1,730,000円 ・テレビ設置工事（配線工事含む）（1,328,470円） 今須小中学校 376,750円 関ヶ原小学校 373,450円 関ヶ原中学校 315,700円 ふれあいセンター 262,570円 ・発電機購入（610,500円） 203,500円×3基 ・充電器購入（265,683円） 88,561円×3台 ④町指定避難所 | R2.9 | R3.3 | 3,828,253 | 3,670,000 | ・防災備蓄倉庫設置工事 2箇所 1,650,000円 ・テレビ設置工事 4箇所 1,318,570円 ・発電機 3台 594,000円 ・災害用携帯電話充電器 3台 265,683円 | 【所管課評価】 避難所において使用する新型コロナウイルス感染症拡大防止のための資機材の備蓄倉庫を主要避難所に整備したことにより、災害時に迅速に対応が可能となった。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、分散して避難が可能となるよう、発電機・充電器・情報収集用TVを配備して、分散避難が可能となった。 |
| 16 | 単 | 送迎用福祉車両増車事業 【医療保健課】 | ①利用者送迎時の密集軽減を図るため ②③国民健康保険特別会計（直診勘定）への繰り出し、通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション利用者の送迎福祉車両（車椅子乗車可能）の増車分の購入に要する経費に充当 ・国民健康保険特別会計（直診勘定）繰出金 スズキエブリイ（車椅子移動車） 2,326,750円×2台 ④関ヶ原診療所 | R2.9 | R3.3 | 4,540,000 | 4,352,000 | ・国民健康保険特別会計（直診勘定）繰出金 4,540,000円 〔車椅子移動車購入〕 2台 4,540,000円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的として送迎車両の利用者送迎時の密集の軽減を図ることができた。 また、送迎車両の利用者の多くは当該車両が新型コロナウイルス感染症の拡大防止が目的であることを理解し、安心感を得られるなどの高評価であった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|------------------------------------|--|----------|----------|---------------------|-------------------|---|--|
| 17 | 単 | 体験型プログラム及び関ヶ原検定感染防止対策事業 【地域振興課】 | ①歴史民俗学習館及び笹尾山交流館等で実施する体験型プログラム（瓦作り等）を感染防止しながら実施するため。また、例年実施してきた「関ヶ原検定」を感染防止のため、会場に集合して受検する形ではなく、自宅で気軽に受検できる仕組みを構築するため ②感染防止のための用具、体験キット等の購入費用及び自宅での受検の仕組みを構築するための経費に充当（関ヶ原をPRする参加賞含む） ③（1）体験型プログラム ・フェイスシールド（330円×100個） ・アクリル板（仕切り用）（10,000円×10枚） ・体験キット（材料費等）（1,080,000円） （2）関ヶ原検定 ・公式本作成代（1,000,000円） ・問題作成代等（207,900円） ・参加賞、認定証（250,000円） ④② 郵送代（50,000円） ・事務経費（50,000円） ④歴史民俗資料館 他 | R2.9 | R3.3 | 2,602,353 | 2,495,000 | ・体験型プログラム フェイスシールド（100個） 33,000円 アクリル板（10枚） 93,500円 体験キット 1,006,500円 ・関ヶ原検定 公式本作成 935,000円 問題作成 207,900円 参加賞 242,440円 郵送代 35,739円 事務経費 48,274円 | 【所管課評価】 十分な感染防止対策実施したうえで、体験型プログラムを実施することで、コロナ禍においても観光客等の集客が可能となり、地域経済の活性化につながった。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、関ヶ原検定を自宅で受検できるようになり、自宅時間が増えている中で関ヶ原を知っていただく機会が作れた。 |
| 18 | 単 | 町内飲食店等周遊デジタルスタンプラリー実施事業 【地域振興課】 | ①観光協会が運営する「関ヶ原ファンクラブ」のデジタル基盤を町内飲食店等も活用できる形で再構築し、同基盤を用いて、町内飲食店等への周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施。また、アフターコロナを見据え、来年度以降も同基盤を用いて、町内飲食店等が参加できるデジタルサービスの展開（ポイント付与制度等）を視野に入れて、整備を図る ②③関ヶ原ファンクラブのデジタル基盤に町内各店舗のQRコード等を組み込み、モバイルラリーの機能を付加する経費に充当 ・町内飲食店等周遊デジタルスタンプラリー実施事業委託料 3,000,000円 システム構築費、ラリー運用費、ラリー用QRコード作成費、広告費、管理費他 ④関ヶ原観光協会（事業委託） | R2.9 | R3.3 | 2,976,600 | 2,853,000 | ・町内飲食店等周遊デジタルスタンプラリー実施事業委託料（観光協会） 2,976,600円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス対策として、直接手を触れずにスタンプを集められ、参加する店舗や利用者も安心して周遊することができた。また、デジタル化を活性化することで、今後の事業にも活用できる仕組みが構築されたので、観光客が戻ってきたときに、楽しく町内を周遊できる環境が整った。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|--|--|----------|----------|---------------------|-------------------|------------------------------------|---|
| 19 | 単 | 携帯端末による多言語表示対応業務（各史跡サインの内容を文字及び音声で翻訳） 【地域振興課】 | ①町内の各史跡のサインについて、感染を防ぎながら、多言語表示のデジタルサービスを提供するため（ガイドによる通訳等は感染のリスクがあるため、携帯端末で各自が読みこみ形で翻訳サービスを提供し、非接触型の多言語化対応を図る（※非接触型翻訳サービス）） ②③町内の史跡サインにあるQRコードを各旅行者の携帯端末等で読み込むと5か国語（英、仏、中（簡・繁）、韓）で文字及び音声案内を行うサービスを構築する経費に充当（英語は史跡サインに文字が掲載済みのため、音声のみ構築） ・携帯端末による多言語表示対応業務委託料 9,196,000円 翻訳費5か国語、QRコードガイドシステム、シール制作、音声データ制作、データ登録、設置・工事費、管理費他 ④町内各史跡 | R2.9 | R3.3 | 9,130,000 | 8,752,000 | ・携帯端末による多言語表示対応業務委託料 9,130,000円 | 【所管課評価】 非接触型で日本語も含め、多言語情報を提供することで、接触機会を少なくし、感染防止対策につながった。今後の外国人観光客の誘客に対するサービス基盤の整備を図ることができた。 |
| 20 | 単 | 観光施設多言語情報提供業務 【地域振興課】 | ①新型コロナ収束後の外国人観光客増加も見据え、関ヶ原町歴史民俗学習館のHPについて、多言語（英語）による情報提供を行うため ②③歴史のHPを英語に翻訳する経費に充当 ・観光施設多言語情報提供業務委託料 3,201,000円 翻訳費、Webデザイン費、Webコーディング費、情報掲載、管理費他 ④歴史民俗学習館 | R2.9 | R3.3 | 3,190,000 | 3,058,000 | ・観光施設多言語情報提供業務委託料 3,190,000円 | 【所管課評価】 コロナ後の外国人観光客の誘客に対するサービスの基盤を整備することができた。 |
| 21 | 単 | 多言語デジタルサービス提供業務 【地域振興課】 | ①感染防止対策のため、町内の観光情報等を紙によるパンフレットではなく、デジタルで多言語（9言語）による提供を行うため ②③9言語観光サイトにアクセスするためのQRコードを付与したカードを作成する費用（JTBが提供する「9言語観光サイト」FM）のサービスを利用。観光パンフレットと同種の内容をデジタルに提供。観光客は町内各所等に置かれたカードから、観光情報等を携帯端末で読み込む。） ・多言語デジタルサービス提供事業委託料 500,000円 カード作成費用、管理費他 ④JTB（事業委託） | R2.9 | R3.3 | 497,310 | 477,000 | ・多言語デジタルサービス提供事業委託料 497,310円 | 【所管課評価】 デジタルでの観光情報の提供により、接触機会を少なくし、感染防止対策につながった。コロナ後の外国人観光客の誘客に対するサービス基盤の整備を図ることができた。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|---------------------------------|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 22 | 単 | 家賃支援給付金事業 【地域振興課】 | ①緊急事態宣言の延長等により、売上の減少に直面する事業者の事業継続を下支えするため ②③国が実施する家賃支援給付金の事業者負担分を補助する ・国から給付された給付金額×1/2 (法人1,800,000円、個人900,000円を上限) ④町内事業者 | R2.9 | R3.3 | 1,766,000 | 1,693,000 | ・家賃支援給付金事業補助金 13事業所 1,766,000円 | 【所管課評価】 国の事業に上乗せして補助することで、事業者の負担を大幅に軽減することができ、事業継続を支援することができた。 【対象者等からの評価】 ・売上が無い中、固定費を支払うのは困難だが、この補助制度を活用することで継続して店を運営できている。 |
| 23 | | 【欠番】 | | | | | | | |
| 24 | 単 | 公共的空間安全・安心確保事業 【議会議務局】 | ①議員間、理事者間の距離を確保し、密集場所における感染リスクの軽減を図るため ②③議場(大会議室) 音響設備を有線から赤外線タイプへの改修に要する経費に充当 ・音響設備 6,985,000円 ④役場庁舎 | R2.9 | R3.3 | 6,809,000 | 6,527,000 | ・音響設備 6,809,000円 | 【所管課評価】 音響設備が有線から無線になったことで、議員及び理事者の座席の間隔を十分に確保することができ、密集場所における感染リスクの軽減を図ることができた。 |
| 25 | 単 | 避難所における新型コロナ感染拡大防止事業 【水道環境課】 | ①想定収容人数の多い避難所において、感染拡大防止を目的とした手洗い等に利用する水を確保するため ②③水道事業会計へ補助し、組立式給水タンク及び運搬用の車両搭載型可搬式給水タンクの整備に要する経費に充当 ・水道事業会計補助金 組立式給水タンク（1,000ℓ） 594,000円×1基 車両搭載型可搬式給水タンク（800ℓ） 2,090,000円×1基 発電機 169,400円×1台 ④浄水場 | R2.9 | R3.3 | 2,809,400 | 2,693,000 | ・水道事業会計補助金 2,809,400円 （組立式給水タンク 594,000円） 給水タンク 2,046,000円 発電機 169,400円 | 【所管課評価】 避難所等において、手洗い・うがい等の基本的な感染予防を行うために必要な水の確保に必要な給水タンクが整備を図ることができた。また、車両搭載型可搬式給水タンクの整備により車両が通れる場所には応急給水ができるようになった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|---|--|----------|----------|---------------------|-------------------|---|---|
| 26 | 単 | 公立学校情報機器整備事業 【教育課】 | ①国が進めるGIGAスクール構想に係る1人1台PC端末の早期実現のため ②③全ての児童生徒の「1人1台端末」の整備等に要する経費に充当 ・タブレット購入費（設定費等含む） 【3人に1台分のうち未整備分】 82,500円×68台=5,610,000円 【3人に2台分（定額補助への上乘せ分）】 47,400円×189台+37,500円×109台=13,046,100円 ・フィルタリングソフト（395,604円） 小学校 203,148円 中学校 192,456円 ④各小中学校 | R2.6 | R3.3 | 18,555,604 | 17,788,000 | ・タブレット購入 18,160,000円 (小学校189台、中学校177台) ・フィルタリングソフト使用料 小学校 203,148円 中学校 192,456円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による学校臨時休校への対策として、今回配備された1人1台のタブレットを利用し、家庭にて遠隔授業を受けられる体制整備を図ることができた。現在においても学校でのICT授業の一貫として十分な活用を図っている。 |
| 27 | 単 | 確定申告会場感染防止対策事業 【税務課】 | ①確定申告会場における新型コロナウイルス感染症拡大防止のため ②③受付窓口用等間仕切り及び発券機・表示器等購入費に充当 ・間仕切り（H型7台、T型12台）購入費 188,650円 ・発券機・表示機・操作器等購入費 1,387,650円 ④確定申告会場（役場庁舎） | R2.9 | R3.3 | 1,239,150 | 1,188,000 | ・間仕切り 4基 188,650円 ・窓口案内システム（発券機・表示機等） 1式 1,050,500円 | 【所管課評価】 確定申告会場に間仕切りを設置することで新型コロナウイルスの飛沫感染防止に十分効果をあげることができた。また、多くの人を訪れる会場入口に発券機・表示機を設置することにより会場内とその周辺で人が滞留することなく感染防止に繋がる3密回避に効果を発揮した。 |
| 28 | 単 | 小中学校修学旅行、宿泊研修代替事業補助、行き先変更に伴うキャンセル料補助 【教育課】 | ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による修学旅行等の行程変更及び移動手段の変更、密集回避のための増便により発生する追加費用の保護者負担を軽減するため ②③バスの借上料、キャンセルに要する経費に充当（補助金） ・大型貸切バス 2台 151,800円 ・新幹線指定席 550円×12名+1,100円×9名 ・企画料キャンセル料 71,847円 ④各小中学校 | R2.9 | R3.3 | 228,046 | 219,000 | ・修学旅行・宿泊研修代替事業補助金 今須小学校 6,600円 関ヶ原小学校 150,000円 関ヶ原中学校 71,446円 | 【所管課評価】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により発生した修学旅行等のキャンセル料等を補助することにより、児童生徒の家庭への経済的負担を軽減することができた。 【対象者等からの評価】 ・家庭の負担が軽減されありがたい。 ・コロナ過で切迫している家計が助かった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|--|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|---|
| 29 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（換気対策事業） 【住民課】 【教育課】 | ①公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③換気対策として実施する網戸の設置に要する経費に充当 ・子育てコミュニティ 87,120円 ・東保育園 502,150円 ・西保育園 366,080円 ・放課後児童クラブ 80,520円 ・ふれあいセンター 1,070,300円 ・町民体育館 1,138,060円 ④各保育園、町民体育館 他 | R2.6 | R3.3 | 3,207,710 | 3,075,000 | ・網戸設置工事 子育てコミュニティ事業 80,520円 東保育園 502,150円 西保育園 366,080円 放課後児童クラブ 75,240円 ふれあいセンター 1,061,500円 町民体育館 1,122,220円 | 【所管課評価】 各施設に網戸を設置することにより換気対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図り、安全に施設利用を行うことができている。 |
| 30 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（換気・防虫対策事業） 【教育課】 | ①町民体育館、避難所としても指定されている各小中学校体育館の密閉空間解消のための換気対策及び換気時の防虫対策、衛生環境の充実を図るため ②③網戸設置工事（換気対策）及びLEDライト交換工事（換気時の防虫対策）に要する経費に充当 ・関ヶ原小学校体育館 3,552,230円 ・今須小中学校体育館 4,670,160円 ・関ヶ原中学校体育館 4,059,330円 ・町民体育館（防虫対策のみ） 4,977,005円 ④各小中学校体育館、町民体育館 | R2.9 | R3.3 | 8,646,000 | 8,288,000 | ・網戸設置工事 関ヶ原小学校 514,800円 今須小中学校 415,800円 関ヶ原中学校 257,400円 ・LEDライト交換工事 関ヶ原小学校・今須小中学校 3,356,100円 関ヶ原中学校 1,789,920円 町民体育館 2,311,980円 | 【所管課評価】 各施設に網戸を設置することにより換気対策を徹底し、また換気時に各体育館の水銀照明に害虫が集まることへの防止のため、LEDライトを設置したことにより、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図ることができ、安全に施設利用を行うことができている。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|---|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 31 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（施設整備事業） 【総務課】 【水道環境課】 【教育課】 | ①公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③庁舎のトイレ照明スイッチの人感センサー化及び斎苑の空調整備・換気設備整備等、中学校給食調理室の空調設備、衛生面に問題のある小学校教室のカーペット床の改修、密回避による会議室の不足を解消するための会議室増設に要する経費に充当 ・庁舎トイレ照明人感センサー化（4箇所） 572,000円 ・斎苑空調設備工事 2,860,000円 ・斎苑換気設備工事 1,320,000円 ・斎苑空調分解清掃 429,000円 ・中学校給食調理室空調設備工事 1,180,960円 ・小学校音楽室その他床改修工事 3,652,000円 ・ふれあいセンター会議室増設工事 1,902,000円 ・会議室用備品整備 2,044,900円 ④役場庁舎、斎苑 他 | R2.9 | R3.3 | 13,640,660 | 13,076,000 | ・庁舎トイレ照明センサー取付工事 550,000円 ・斎苑空調・換気設備改修工事 4,125,000円 ・斎苑空調分解清掃業務 422,400円 ・関ヶ原中学校エアコン設置工事 1,180,960円 ・関ヶ原小学校床改修工事 3,575,000円 ・ふれあいセンター会議室増設工事 1,878,800円 ・ふれあいセンター会議室備品 1,908,500円 | 【所管課評価】 庁舎の照明スイッチによる、接触感染を防ぐため外部からの出入りが多いトイレ照明と換気を感じ熱式のスイッチを設置し自動化した。スイッチに触れることなく点灯・消灯するため省エネにもつながり感染対策には有効であった。 また、各施設の工事や改修を行うことにより換気対策や3密回避を図ることができ、十分な新型コロナウイルス感染症予防対策に繋がった。 |
| 32 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（トイレ洋式化事業） 【住民課】 【教育課】 | ①感染リスクが確認されているトイレ使用時のウイルスのまき散らしの防止や手洗い時の感染リスクの軽減を図るため ②③避難所としても指定されている小中学校体育館、保育園や多くの人々が利用する運動公園のトイレの洋式化及び手洗いの自動水栓化に要する経費に充当 ・関ヶ原小学校体育館 6,897,000円 ・関ヶ原中学校体育館 6,897,000円 ・今須小中学校体育館 3,806,000円 ・保育園（2園） 7,200,000円 ・桃配運動公園 4,620,000円 ④各小中学校体育館、保育園 他 | R2.9 | R3.3 | 27,773,900 | 26,625,000 | ・トイレ洋式化・手洗自動水栓化工事 関ヶ原小学校 6,697,900円 今須小中学校 2,893,000円 関ヶ原中学校 6,765,000円 東・西保育園 6,820,000円 桃配運動公園 4,598,000円 | 【所管課評価】 トイレの洋式化、手洗いの自動水栓化を図ることにより、新型コロナウイルスの飛散防止や接触防止など感染症拡大防止対策を行うことができ利用者の安全を守ることができた。 また、集団生活における感染リスクを軽減することができた。 |
| 33 | | 【欠番】 | | | | | | | |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|---|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 34 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（消耗品整備事業） 【総務課】 【医療保健課】 | ①公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③マスクや各公共施設で使用する消毒液等の感染防止のための消耗品購入経費に充当 ・噴霧器（4ℓ×23個） 78,050円 ・ハndsプレー（1個） 448円 ・消毒液（500mℓ×120本） 40,810円 ・消毒液（18ℓ×1本） 16,500円 ・マスク（大人用・26,000枚） 1,207,800円 ・マスク（子供用・5,000枚） 258,500円 ・スプレーボトル（4ℓ×23個） 56,100円 ・テーブル間仕切り用アクリル板（20個） 127,600円 ・カウンター用間仕切り（27組） 197,406円 ・フェイスシールド（200枚） 72,600円 ・ガンスプレー・ノズル（100個） 14,190円 ④役場庁舎、関ヶ原診療所 他 | R2.4 | R3.3 | 2,070,004 | 1,984,000 | ・感染防止対策消耗品 噴霧器（4ℓ×23個） 78,050円 ハndsプレー（1個） 448円 消毒液（500mℓ×120本） 40,810円 消毒液（18ℓ×1本） 16,500円 マスク（大人用・26,000枚） 1,207,800円 258,500円 スプレーボトル（4ℓ×23個） 56,100円 テーブル間仕切り用アクリル板（20個） 127,600円 カウンター用間仕切り（27組） 197,406円 フェイスシールド（200枚） 72,600円 ガンスプレー・ノズル（100個） 14,190円 | 【所管課評価】 施設入り口に消毒液を常備し、手指消毒を徹底することで、感染リスクを軽減することができた。 ノンアルコールの手指消毒液は保育園児にも安心して使用できた。 また、各施設に必要なとされる感染拡大防止のための衛生用品等の整備を図ることができた。 |
| 35 | 単 | インフルエンザ予防接種助成事業 【医療保健課】 | ①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行に備え、町民の感染予防・重症化予防を図るため ②③インフルエンザ予防接種費用の負担軽減に要する経費に充当（医療機関への委託料もしくは本人への助成金） 【定期接種分】自己負担分（1,700円）を助成 ・65歳以上、60～64歳障害者等 1,700円×2,034人 【任意接種分】助成上限額2,000円/回 ・6ヶ月～小学校6年生 2,000円×2回×325人 ・中学校1年生～高校3年生 2,000円×1回×240人 ・妊婦 2,000円×1回×7人 ④町民 | R2.9 | R3.3 | 4,394,360 | 4,213,000 | ・インフルエンザ予防接種委託料 高齢者 2,031人 3,452,700円 妊婦 3人 6,000円 子供 431人 862,000円 ・インフルエンザ予防接種助成金 高齢者 3人 5,100円 妊婦 2人 4,000円 子供 26人 64,560円 | 【所管課評価】 例年、高齢者は接種率約50%であるが、今回自己負担金を全額助成したことで接種率70%以上に向上することができた。なお、妊婦50%、小児56.6%の接種率となり、感染予防・重症化予防を図ることができた。 【対象者等からの評価】 ・同時流行が懸念されていたが、インフルエンザの感染者も例年より少なく、感染予防・重症化予防につながった。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|--|---|----------|----------|---------------------|-------------------|--|---|
| 36 | 補 | 学校保健特別対策事業費補助金 【教育課】 | (学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①教育施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③赤外線サーモグラフィーカメラの設置等の感染防止対策に要する経費に充当 ・サーモグラフィーカメラ設置 (2,772,000円) 924,000円×3基 (学校) ・小中学校備品 (38,940円) ハンディークリーナー 12,980円×3台 ・小中学校消耗品 (878,390円) 給食配膳用トレイ (200枚) 228,800円 非接触型体温計 (17台) 142,200円 電子体温計 (4本) 8,800円 消毒液 140,240円 ポリポロ手袋 48,750円 アクリルパーティション (職員室用) 309,600円 ④各小中学校 | R2.6 | R3.3 | 3,689,330 | 1,769,000 | ・サーモグラフィーカメラ設置 (3基) 2,772,000円 ・小中学校備品 ハンディークリーナー (3台) 38,940円 ・小中学校消耗品 給食配膳用トレイ (200枚) 228,800円 非接触型体温計 (17台) 142,200円 電子体温計 (4本) 8,800円 消毒液 140,240円 ポリポロ手袋 48,750円 アクリルパーティション (職員室用) 309,600円 | 【所管課評価】 サーモグラフィーカメラやアクリルパーティションなど各種感染症対策備品を導入することにより、学校での新型コロナウイルス感染症予防に努め、児童生徒や教員の安全を確保することができた。 |
| 37 | 単 | 公共施設感染防止対策事業 (消耗品整備事業) 【総務課】 【医療保健課】 | ①公共施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③各公共施設等で使用する感染防止のための消耗品購入経費に充当 ・送迎車両等間仕切り 202,400円 ・庁舎カウンター間仕切り 917,950円 ・関ヶ原診療所総合受付カウンター間仕切り 123,090円 ④役場庁舎、関ヶ原診療所、公用車 | R2.6 | R3.3 | 1,243,440 | 1,192,000 | ・送迎車両等間仕切り 202,400円 ・庁舎カウンター間仕切り 917,950円 ・関ヶ原診療所総合受付カウンター間仕切り 123,090円 | 【所管課評価】 庁舎及び関ヶ原診療所の窓口カウンターに間仕切りを設置し、飛沫による感染防止対策を図ることができた。 送迎車両等間仕切りについてもカウンター間仕切りと同様に飛沫による感染防止対策として実施し、感染防止対策としての効果は認められたが、送迎車両の利用者である高齢者の声を聞きづらくなるという課題が生じた。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|----------------------|--|----------|----------|---------------------|-------------------|--|--|
| 38 | 単 | 地域応援商品券事業 【地域振興課】 | ①新型コロナウイルス感染症の拡大による地域事業者への経済対策（消費活性化）及び町民の生活支援を図るため ②③地域応援商品券（町民1人当たり5,000円分）を発行・配布する経費に充当 ・ノベルティ等他消耗品 730,000円 ・商品券・ポスター等印刷費 882,000円 ・商品券郵送代 1,358,000円 ・地域応援商品券換金分 33,530,000円 ④町民 | R2.12 | R3.3 | 35,369,841 | 33,906,000 | ・ノベルティ等他消耗品 98,047円 ・商品券・ポスター等印刷費 769,120円 ・商品券郵送代 1,041,674円 ・地域応援商品券換金分 33,461,000円 | 【所管課評価】 落ち込んだ消費を正常化するために町民が町内の事業所を利用することで地域内の経済が活性化し、コロナ禍での営業継続を支援することができた。 【対象者等からの評価】 ・普段来ないお客さんが来てくれて、その後もお店に来てくれるようになった。 |
| 39 | 単 | 社会福祉協議会補助事業 【住民課】 | ①新型コロナウイルス感染症拡大により、3密対策が十分に実施できない等の理由により活動が制限されている団体の活動再開を支援するため ②③社会福祉協議会が実施する活動スペース整備事業に対して補助する経費に充当 ・町社会福祉協議会補助金 3,000,000円 パーティション設置、空調設備、照明設備工事等 4,000,000円（3,000,000万円を上限に補助） ④社会福祉協議会 | R2.12 | R3.3 | 3,000,000 | 2,876,000 | ・社会福祉協議会補助金 3,000,000円 〔 社教センター・待合ホール等環境改善事業 3,986,510円 〕 | 【所管課評価】 広さと空調が確保された空間と移動可能なパーティション等を整備することができ、密を回避しながらの事業・会議等の開催が可能となった。 【対象者等からの評価】 ・学習支援事業や小中学校を対象としたボランティアスクール事業において、密を回避した会場として活用できた。 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（実施状況及び効果検証）

| No | 補助・単独 | 事業名 (所管課) | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等） | 事業 始期 | 事業 終期 | 令和2年度 決算額 (円) | 交付金 充当額 (円) | 実施状況 | 効果検証 【所管課評価】 【対象者等からの評価】 |
|----|-------|---------------------------------|--|----------|----------|---------------------|-------------------|------------------------------|---|
| 40 | 単 | 情報配信システム導入事業 【教育課】 | ①新型コロナウイルス感染症の対応に当たり、休校連絡などの情報発信や児童の健康状態の把握・管理を効率的かつ安全に実施するため ②情報配信システム（情報発信、情報収集のためのアンケート機能等を有するスマホ向けアプリ）の導入に要する経費に充当 ③初期導入費用 495,000円 ④保護者 | R2.12 | R3.3 | 495,000 | 475,000 | ・すぐる初期導入委託料 495,000円 | 【所管課評価】 保護者との連絡ツールである「すぐる」を導入することにより、感染予防に関する保護者へのお願いや学校での感染対策などをこまめに通知し、安心を共有することができた。またアンケート機能など各種便利機能を利用し保護者が来校する機会を減らすなど接触防止を図ることができた。 |
| 41 | 単 | 公共施設感染防止対策事業（空調設備整備事業） 【住民課】 | ①児童福祉施設における園児・保育士等の新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③園児室の換気機能付き空調設備の設置及び遊戯室の空調設備及び換気設備の設置に要する経費に充当 ・保育園空調等整備工事 3,084,290円 乳児室空調設備（換気機能付き） すぎの子園空調設備（換気機能付き） 遊戯室空調・換気設備 ④各保育園 | R3.3 | R3.7 | 3,083,300 | 2,800,000 | ・保育園空調等整備工事 3,083,300円 | 【所管課評価】 各保育園の工事や改修を行うことにより、換気対策や3密回避を図ることができ、十分な新型コロナウイルス感染症予防対策に繋がった。 空調設備の整備により、窓を開け、換気をしながら、夏を過ごすことができた。 |
| 42 | 補 | 学校保健特別対策事業費補助金 【教育課】 | (感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①教育施設における新型コロナウイルス感染症の感染リスクの軽減、拡大防止を図るため ②③感染防止対策に要する経費に充当 ・小中学校備品 (792,000円) 加湿器 66,000円×12台 ④各小中学校 | R2.12 | R3.3 | 792,000 | 380,000 | ・小学校備品 加湿器 (12台) 792,000円 | 【所管課評価】 各学校に加湿器を導入し、加湿することによって新型コロナウイルスの飛沫飛散を防止し、児童生徒の安全確保を図ることができた。 |
| 合計 | | | | | | 266,298,898 | 245,596,000 | | |